

ユーザーレポート

User Report

ユーザーレポート

～0の証明～

誠美社工業株式会社

アルコール検知器は、会社・社会を守る装置。

1986年に愛知県瀬戸市で創業。大手企業や行政をはじめ多くの顧客との取引があり、産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理・リサイクル業務をおこなっている。自社リサイクルプラントを保有しており、廃プラスチックをはじめとした産業廃棄物の収集・運搬および処分、収集運搬から積替保管、粗選別、自社処理、選別（トロンメル）、最終処理をおこなっている。また環境にも配慮し、再資源化、再製品化といった資源の有効活用にも積極的に取り組んでいる。

ご利用機器

- ・設置型アルコール検知器 ALC-PRO II
- ・ALC-mobile II



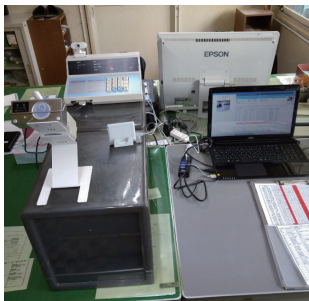
導入のきっかけ 顧客への信頼と管理をデータ化するため

今後、一般事業者でのアルコール検知器義務化に備えネット検索したところ、東海電子(株)のホームページを見つけた。

そこで、アルコール検知器に関するWEBセミナーで情報を集めた。アルコール検知器は元々導入していたが、測定管理を可視化し、取引先からの一層の信頼を得るため、記録が自動で残る、パソコンで一元管理可能な業務用アルコール検知器を導入することにした。

効果・感想 東海電子の測定器を導入後、測定者の意識が変わり1件も検知をしなくなった。

簡易型アルコール検知器を使用していた頃は検知することもあったが、ALC-PRO IIとALC-mobile IIを導入してからは取材日時時点で1件も検知をしていない。パソコンに連動した据え置きタイプということで存在感・重厚感があり、測定者のアルコール検査に対する意識が変わった。



安全への取り組み 勉強会や指導社員からの運転指導で安全教育を推進している。

測定者の意識を変えたもうひとつの要因としては、今年4月から方針を変えて、アルコール検知した測定者へ指導を特に厳しいものにした。



また、商工会議所からの紹介で重機の乗り方などのセミナーを社員に受講してもらっている。実地研修では、自動車の運転経験が浅い社員や高齢者の社員に指導社員が助手席から指導するなど安全教育を推進している。



取材後記

今回、道路交通法施行規則改正により一般事業者でもアルコール検知器使用の義務化に備え、愛知県で最初に導入いただいた。経営理念・行動指針に「資源を循環させることにより社会に貢献」・「誠実な対応でお客様から信頼される会社を目指す」とあり、「ISO14001」など取得している。業務用アルコール検知器も取引先から信頼される会社として、そして社会の安全を守るためのツールとして導入されていたことがわかった。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

取材ご協力

誠美社工業株式会社
工務生産部

課長 浅野 重剛 様



〒489-0071
愛知県瀬戸市暁町3-9-1